

Cisco Catalyst SSH のプロトコルのミスマッチによる脆弱性

severity アドバイザリーID : cisco-sa-20001213-catalyst-ssh-mismatch
初公開日 : 2000-12-13 18:00
バージョン 1.2 : Final
回避策 : [Yes](#)
Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Catalyst 6000、5000、または 4000 スイッチのイネーブルになった SSH サービスへの Non-Secure Shell (SSH) 接続の試みにより Supervisor Engine 失敗に終って「プロトコルミスマッチ」エラーを、引き起こすかもしれません。 Supervisor Engine 失敗は原因になり、スイッチのトラフィックを通過させないためにリブートしますスイッチを。この問題はリリース 6.1(1c) で解決されます。極めて限られカスタマー ダウンロードが原因で、Cisco は影響を受けた顧客を直接知らせることを選択しました。

この脆弱性は Cisco バグ ID CSCds85763 を割り当てられました。

このアドバイザリーの全文は

<http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20001213-catalyst-ssh-mismatch> で表示することができます。

該当製品

修正済みソフトウェア

Catalyst 6000、5000、SSH サポートの 4000 のイメージ。バージョン 6.1(1)、3 つのデータ暗号化規格 (DES) 機能だけとの 6.1(1a)、6.1(1b)。

次のイメージだけ影響を受けています:

- cat4000-k9.6-1-1.bin
- cat5000-sup3cvk9.6-1-1a.bin

- cat5000-sup3k9.6-1-1.bin
- cat5000-supgk9.6-1-1.bin
- cat6000-sup2cvk9.6-1-1a.bin
- cat6000-sup2k9.6-1-1a.bin
- cat6000-supcvk9.6-1-1a.bin
- cat6000-supk9.6-1-1a.bin
- cat6000-sup2cvk9.6-1-1b.bin
- cat6000-sup2k9.6-1-1b.bin
- cat6000-supcvk9.6-1-1b.bin
- cat6000-supk9.6-1-1b.bin

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

Cisco IOS 12.1 SSH 実装はこの脆弱性から影響を受けません。他の Cisco デバイスは影響を受けていません。

改訂履歴

1.2	2000-December-19	該当製品の更新済リスト。
1.1	2000-December-16	該当製品の更新済リスト。
1.0	2000-December-13	初回公開リリース

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。